

第 6 学 年 国 語 科 学 習 指 導 計 画

6年1組 指導者 池 永 亜 由 美

1 8 M (6 時 間) が本時

学習活動	子供の意識
第 1 次 初発の感想をもとに、心に残ったことや読み深めたいことについて話し合う 6 M (2 時 間) 学習内容 ・表現の工夫に気付き、その効果を理解すること (知) ・登場人物の相互関係に基づく表現に着目して読むことに、進んで取り組むこと (態)	
<input type="checkbox"/> 初発の感想を交流する (3M) <input type="checkbox"/> 内容の大体を捉え、問いについて話し合う (3M)	<ul style="list-style-type: none"> ・「海の命」という物語を学習するのだね。題名を見て読んでみたいと思っていたよ。どのような物語なのかな。早速読んでみよう。最後の場面で太一がクエを見つけてほほえんだところが印象に残ったよ。でも友達は、なぜ太一がおとうの仇を討たなかったのか分からなかったと言っているよ。確かにそうだね。私は、太一がクエにもりを打たなかったことを、生涯だれにも話さなかったことに疑問をもったよ。太一のことに関心をもった人が多かったね。どうすれば問いの答えが分かるかな。友達と意見を交流するとよいのだけれど、そのためには、まずみんなが物語の内容を理解することが必要だね。 ・物語の内容を整理してみるよ。登場人物は太一、おとう、与吉じいさ、母で、中心人物は太一だ。太一たちが海に住んでいたとはどういう意味なのかな。友達は、海は太一やおとう、与吉じいさの心が住む場所だと言っているよ。確かに登場人物にとって海は大切な場所だったからね。物語のクライマックスは、太一がクエにもりを打たなかったところだ。太一は初め、クエをおとうの仇と思って憎んでいたのに、クエをおとうだと思ってもりを打たなかったのはなぜかな。そしてそのことを太一が生涯だれにも話さなかった理由も、文章に書かれていないからよく分からないな。これらの問いは、みんなで話し合う必要がありそうだね。次の時間からみんなで話し合ってみよう。
第 2 次 登場人物の相互関係に基づく表現に着目しながら登場人物の人物像を捉える 9 M (3 時 間) 学習内容 ・表現の工夫に気付き、その効果を理解すること (知) ・登場人物の相互関係に基づく表現から、中心人物の人物像を具体的に想像すること (思)	
<input type="checkbox"/> 太一がクエにもりを打たなかった理由について、周辺人物の言動の表現に着目しながら読み取る (3M) <input type="checkbox"/> 太一が話さなかった理由について、周辺人物の言動の表現に着目しながら読み取る (3M)	<ul style="list-style-type: none"> ・太一はなぜ、おとうの仇と思っていたクエにもりを打たなかったのか話し合おう。どのようにして問いの答えを見付けるとよいか。そうか、この場面で太一の心情が変化しているから、太一の心情を変えたものは何かを話し合うとよいのだね。太一の心情の変化に関わったのは与吉じいさではないかな。与吉じいさの、海やそこで生きる命を大事にしようとする考えを思い出して、クエを前にした太一は心情が変わったのだと思うよ。太一はおとうの仇を討つことでなく、海の命を大事にすることを選んだからもりを打たなかったのだから。やっぱり、太一の心情の変化には与吉じいさが大きく関わっていたよ。太一の心情は、創る科で学習した関連付ける力を使うと分かりそうだね。 ・太一がクエを見かけたのにもりを打たなかったことを、だれにも話さなかった理由を話し合おうよ。「もちろん」や「話さなかった」という表現から、太一の話したくない気持ちを感じられたよ。太一はなぜ話したくなかったのだろう。今回も太一と周辺人物を関連付けながら考えてみるよ。太一は与吉じいさから村一番の漁師だと言われていたね。太一の思

<p>□題名の意味をこれまでの学習と関連付けて考える (3M)</p>	<p>う村一番の漁師とは、海の命を守る漁師だよ。友達は、太一がクエを打とうとしたことは海の命を守っていないことだと思ったから、話したくなかったのだって。その考えに納得だな。関連付けて考えると問いの答えが分かったね。題名の意味が分かったという友達もいるよ。題名の意味も気になるね。</p> <p>・今回は、題名の意味について登場人物と関連付けながら考えてみよう。これまでの学習から、太一や与吉じいさ、おとうにとっての海の命とは、守るべきものであり、ずっと続いていくものなのだったよ。友達は、母にとっての海の命は、自分の大切な人たちが守っているものだったのだった。登場人物同士が海の命を守ろうとする思いでつながっていることが、この物語のテーマだと思ったよ。そうか、だから題名が「海の命」なのか。題名の意味も、登場人物と関連付けるとよく分かったね。題名の意味や問いの答えが分かると、この物語のよさがよく分かったよ。友達にこの物語の感想を伝えたくなくなったよ。みんなの感想も聞いてみたいな。</p>
<p>第3次 登場人物の生き方について感想を交流し、考えを広げる 3M (1時間)</p>	
<p>学習内容 ・進んで感想を交流し、考えを広げようとする(態)</p>	
<p>□登場人物の生き方について考えたことを話し合う (3M)</p>	<p>・物語を読み深めて分かったことを交流しよう。この物語は海の命を守ろうとする人々が出てきたよ。だから、登場人物について考えたことを交流しよう。みんなが同じテーマで感想を交流すると、友達と比べやすいからね。私は、与吉じいさの生き方が印象に残ったよ。生涯海とともに生きた与吉じいさが、太一の考え方にも大きく影響を与えたことが分かって、与吉じいさの偉大さを感じたからだよ。友達は、太一の生き方に注目したのだね。おとうの仇を討たず、海の命を大切にされた太一の行動や心情から、海に生きる太一の覚悟を感じたからなのだった。みんなと感想を交流することで、自分の考えを広げることができたよ。作者が書いた他の本も読んでみたくなったよ。</p>